

平成 25 年度決算に係る
定期監査調書

平成 26 年 6 月

東 部 教 育 局

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	2頁
5	役付職員の調べ	2頁
6	主な事業に関する調べ	3頁
7	収入証紙取扱額調べ	7頁
8	収入事務処理状況調べ	7頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	8頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	8頁
11	不納欠損額調べ	8頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	8頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	9頁
14	財産に関する調べ	9頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	9頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	9頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	9頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	9頁
19	寄附物件の受納状況調べ	9頁
20	備品の処分状況調べ	10頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	10頁
22	小中学校等への支援の状況調べ	11頁
○	意見、要望等	12頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係 (担 当) 名	課 の 主 な 所 掌 事 務
教育委員会事務局 東部教育局	学事担当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公印の保管に関する事 ・ 職員の身分及び服務に関する事 ・ 市町教育委員会の組織及び運営に関する指導、助言及び情報提供に関する事 ・ 市町立学校の教職員の人事に関する事 ・ 教育の調査及び統計に関する事 ・ 公立学校共済組合に関する事
	学校教育担当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町立学校の学校運営、教育課程、学習指導及び生徒指導に関する事 ・ 市町立学校の教科用図書及び教材の取扱いに関する事 ・ 市町立の小学校及び中学校の児童及び生徒の就学義務の免除及び猶予に関する事 ・ 教育の調査及び統計に関する事 ・ 学校保健及び学校給食に関する事 ・ 学校体育に関する事 ・ 教育関係団体との連絡及び必要な指導及び助言に関する事
	社会教育担当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育に関する事 ・ 生涯学習及び社会体育に関する事 ・ 教育関係団体との連絡及び必要な指導及び助言に関する事

4 職員の定員、現員調べ

(平成26年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	25.4.1現在	当該年度	25.4.1現在	当該年度	25.4.1現在	当該年度	25.4.1現在	
定員	13	13	1	1	0	0	14	14	
現員	() 13	() 13	() 1	() 1	() 0	() 0	() 14	() 14	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	0	0	0	0	1	1	

5 役付職員の調べ

(平成26年6月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
局長	杉本 仁詞	年 0	月 2	
次長	網川 昭夫	2	2	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要	要
<p>教育局運営費 (学校教育)</p> <p>決算額 5,256千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 5,256千円</p> <p>○将来ビジョン VI育む (2)「人財・鳥取」の推進</p> <p>○政策項目 IV人財とっとり 2少人数学級の 拡充など学力 向上プログラ ム</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 県内東部地区を管轄し、5の市町教育委員会、81の市町立小中学校、83の幼稚園・保育所に対し、学校・園経営の充実や教員・保育士の資質向上、指導力・授業力の向上等を図るため、指導助言等による支援を行う。また、各市町教育委員会・各学校や園の自主・自立をめざす。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>【東部地区幼稚園・保育所、公立学校との連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全小中学校への学校訪問(年2回)や要請訪問等により、学校経営や学習指導の重点事項の周知、学校の取組状況の把握と指導助言、保育所・幼稚園の訪問による指導助言や情報提供を行った。 ○LD等専門員による巡回訪問(年3回)、要請訪問を実施した。 ○各市町郡校長会(毎月1回開催)に出席して、学校課題等への対応について、指導助言等を行った。 <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2か月に1回、東部教育局が発行する情報誌「東部通信」で学校の参考となる学校教育の取組事例等を積極的に紹介することにより学校を支援した。また、毎月の校長会では資料を配布し、新しい情報提供を行った。 ○HPを活用して、各担当が学校経営・授業改善、社会教育に関する内容を積極的に発信した。 ○日々の授業づくりや校内研修活性化による課題解決に向けたポイント集の作成・配布及びHPへの掲載を行った。 <p>【教職員への研修と啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東部地区を対象とした幼稚園教員・保育士の合同研修会の開催、要請訪問での「元気いっぱい 園・学校づくりポイント集」(東部教育局刊)を活用した指導助言、学校の教育課題に対応したワークショップの開催等を行った。 <p>【市町教育委員会との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題共有のための市町教育委員会訪問及び東部地区指導主事等連絡協議会を開催し、「活用する力の育成や内発的学習意欲向上をめざした授業づくり」、「新たな不登校児童生徒を生まない具体的方策」等について協議、情報交換を行った。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ(年15回:特別支援教育相談会を含む) テーマ:授業改善・研究推進・特別支援教育・仲間づくり,保護者連携等 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○東部地区の市町教育長と年2回「東部地区市町教育長会」を実施して、人事・教育課題(土曜授業、いじめ防止対策推進法等)について情報共有し、次年度の取組を協議した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・市町教育委員会訪問(年2回) ・東部地区指導主事等連絡協議会(年3回) </div> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鳥取県の目指す幼児の姿「遊びきる子ども」の育成に向けて、「鳥取県幼児教育振興プログラム(改訂版)」を活用して研修・訪問を行った。 ○小中学校の学校訪問において、「とっとりの授業改革【10の視点】」への取組による授業改善を促した。 	

事業名	概	要																				
	<p>○いじめ不登校対策として、不適応児童生徒への具体的な対応策について東部地区指導主事等連絡協議会でワークシート活用法などの演習を行い、小中連携での取組を促した。</p> <p>○LD専門員・SCの合同研修会において課題を共有するなど、連携して不適応児童生徒や学校へ関わられるようにした。</p> <p>ウ 成果</p> <p>○「とっとりの授業改革【10の視点】」を授業改善の取組として取り組んだ学校が増加した。</p> <p>◆小学校において、取組校が増加した項目が7項目あり、そのうち、「魅力的な課題・教材の提示」については、前年度28校に対して、平成25年度は、38校であった。</p> <p>◆中学校において、取組校が増加した項目が6項目あり、そのうち、「学習を振り返る活動の設定」については、前年度7校に対して、平成25年度は、11校であった。</p> <p>○中学校区を中心とした校種間連携による取組の重要性が各校で認識され、生徒指導・授業改善・特別支援教育・幼児教育において、学校や園での連携した取組の効果が徐々に上がってきている。</p> <p>【学校教育実施状況調査（抜粋）】</p> <table border="1" data-bbox="480 969 1414 1131"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H24 (A)</th> <th>H25 (B)</th> <th>(B) - (A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校区の小・中学校で互に参加し合う授業研究会を複数回実施</td> <td>73%</td> <td>93%</td> <td>+10%</td> </tr> <tr> <td>接続期のカリキュラム作成率</td> <td>65%</td> <td>77%</td> <td>+12%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○各市町教育委員会と連携して、園・学校への指導・支援を行い、学ぶ意欲の向上、言語活動の充実・学習評価の推進、不登校問題など共通の重点課題解決が図られてきている。</p> <p>【生徒指導月例報告集計（抜粋：中学校3月現在）】</p> <table border="1" data-bbox="539 1288 1385 1368"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H24 (A)</th> <th>H25 (B)</th> <th>(B) - (A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校生徒の出現率</td> <td>2.73%</td> <td>2.88%</td> <td>0.15%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ある中学校では、小学校との連絡会で新入学の不登校児童について状況を把握し、小学校卒業から中学校入学までを連携していねいに支援することで、児童は中学校への期待を膨らませ、別室登校できるようになった。本事例を各学校への支援に活用できるよう東部地区指導主事会でも情報共有した。</p> <p>エ 課題</p> <p>○「とっとりの授業改革【10の視点】」を授業改善として取り組んだ学校は増加したが、学習評価に取組学校がまだ少なく、授業づくり、校内研究の推進にあたり学習視点を絞ってさらに図っていく必要がある。</p> <p>○不登校問題の解決に向けて、中学校区での共通の取組や幼保小中の具体的連携の工夫などをさらに進める必要がある。</p> <p>○「幼保小連携カリキュラム」を活用し、保育・教育の質の向上にむけた取組をさらに充実していく必要がある。</p>	項目	H24 (A)	H25 (B)	(B) - (A)	中学校区の小・中学校で互に参加し合う授業研究会を複数回実施	73%	93%	+10%	接続期のカリキュラム作成率	65%	77%	+12%	項目	H24 (A)	H25 (B)	(B) - (A)	不登校生徒の出現率	2.73%	2.88%	0.15%	
項目	H24 (A)	H25 (B)	(B) - (A)																			
中学校区の小・中学校で互に参加し合う授業研究会を複数回実施	73%	93%	+10%																			
接続期のカリキュラム作成率	65%	77%	+12%																			
項目	H24 (A)	H25 (B)	(B) - (A)																			
不登校生徒の出現率	2.73%	2.88%	0.15%																			

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
<p>教育局運営費 (社会教育)</p> <p>決算額 5,256千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 5,256千円</p> <p>○将来ビジョン VI育む (2)「人財・鳥取」の推進</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 社会全体(学校・地域社会・企業・行政等)で取り組む教育の推進及び教育の原点である家庭教育の充実を図るため、各市町教育委員会や関係団体(PTA協議会等)との連携を図るとともに支援を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>【市町教育委員会との連携】 県社会教育協議会主催の東部地区社会教育関係者研修会を市町の社会教育担当者と連携しながら開催した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>開催日 平成25年6月28日(金) 13:30~16:30 会場 鳥取県 東部庁舎 講堂 内容 実践発表1 「若者と地域の連携」 発表者 倉吉市灘手公民館 館長 松井幸伸 灘手青年クラブ 会長 平久 卓 実践発表2 「地域に貢献するって楽しいんだ」 発表者 日野郡江府町青年団 事務局 浦部達洋 ワークショップ 「青少年教育、特に若者世代を事業に取り込む仕掛けを考える」 振興 県教育委員会事務局 東部教育局 社会教育担当 社会教育主事 寺谷孝志 参加者数 56名</p> </div> <p>【県PTA協議会への支援】 県PTA協議会が主催するPTA指導者研修(東部地区)の運営に係る支援をした。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>開催日 平成25年6月15日(土) 9:30~12:00 会場 国府町中央公民館 内容 全体会 主催者あいさつ、施策説明 分科会 PTA活動推進分科会他3分科会</p> </div> <p>【教職員への支援(学校支援)】 学校と保護者の連携の機会である保護者会を効果的に運営するため、運営に係るワークショップを開催した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>開催日 平成25年6月7日(金) 14:30~16:45 会場 鳥取県 東部庁舎 501会議室 内容 「参加型保護者会を学ぼう」 参加者13名</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>開催日 平成25年7月22日(月) 18:30~20:30 会場 鳥取市立西中学校 内容 「お手伝いの習慣化に向けて」 参加者80名</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>開催日 平成25年8月22日(木) 14:30~16:30 会場 鳥取県 東部庁舎 501会議室 内容 「アイスブレイク・レクリエーションを学ぼう」 参加者15名</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>開催日 平成26年1月25日(土) 14:30~16:00 会場 鳥取市立稲葉山小学校 内容 「早ね・早おき・朝ごはんで作る生活リズム」 参加者50名</p> </div>

事業名	概要																														
	<p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会教育における学校支援として、より良い保護者会のやり方のワークショップを継続するとともに、昨年度実施した「お手伝いのススメ」の研修会を効果的に進めるため、西中学校区の教職員、保護者と連携して、子どもの生活習慣の定着を目指した「お手伝いの習慣化に向けて」の研修会を実施した。 ○地域で学校を支える「学校支援ボランティア事業」を推進するため、昨年度訪問した学校や新規の活用校などの成果や思い・悩み等を学校支援ボランティア研修会で未実施の学校に広めたり、コーディネーターがつながるためのワークショップを開催するなど、情報共有を図ることができた。 <p>ウ 成果</p> <table border="1" data-bbox="467 696 1414 896"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>はい</th> <th>どちらでもない</th> <th>いいえ</th> <th>未回答</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実践発表は良かったか</td> <td>38</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td></td> <td>93%</td> <td>0%</td> <td>7%</td> <td>0%</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>演習は良かったか</td> <td>37</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td></td> <td>91%</td> <td>0%</td> <td>7%</td> <td>2%</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>【東部地区社会教育関係者研修会アンケート（回答者41名）】</p> <p>アンケートの記述の中に、「若者が集まらない理由や若者への接し方等、今まで思いもしなかったことを考えさせられた。」「若い世代が自分たちで計画して実施し、達成感が得られることで次につながるということが理解できた。」等、参加者が前向きになることのできる感想が多くあり、開催の成果が見られた。</p> <p>【ワークショップアンケート】 評価 3.6（4段階）</p> <p>アンケートの記述の中に、「アイスブレイクやグルーピングなど、話しやすい雰囲気作りの大切さが理解できた」「事前アンケートや事後のフォローなどが次につながる」「保護者の日常の悩みに寄り添えるような話し合いのテーマを考えたい」など、前向きな意見が多くあり、開催の成果が見られた。</p> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの学力、体力などに関連のある基本的な生活習慣の定着に向けて、保護者の理解と協力は必要であるため、今年度は県PTA協議会と連携したワークショップを開催することができた。小学校や中学校区での研修の依頼もあり、家庭教育に対する学校のニーズは高まっているように感じられる。今後は家庭教育支援に向けた具体的な研修や啓発のあり方を検討する必要がある。 ○学校と保護者の連携をより強化するため、教員を対象としたワークショップを開催しているが、現状としては開催時期が参加者のニーズに合っていないように思われる。多くの教員に参加してもらい、年度当初の懇談会で学びが活用できるように、開催時期（時間）や研修内容など検討する必要がある。 	区分	はい	どちらでもない	いいえ	未回答	計	実践発表は良かったか	38	0	3	0	41		93%	0%	7%	0%	100	演習は良かったか	37	0	3	1	41		91%	0%	7%	2%	100
区分	はい	どちらでもない	いいえ	未回答	計																										
実践発表は良かったか	38	0	3	0	41																										
	93%	0%	7%	0%	100																										
演習は良かったか	37	0	3	1	41																										
	91%	0%	7%	2%	100																										

7 収入証紙取扱額調べ
該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金
該当なし

(2) 使用料
該当なし

(3) 手数料
該当なし

(4) 財産収入
該当なし

(5) 諸収入

(平成26年3月31日現在)

(単位：円)

目	収入科		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	目							
雑入	雑入	非常勤講師雇用	719	549,073	549,073	0	0		
		保険料							
		過年度過払金の返納	2	2,540	2,540	0	0		
	目計		721	551,613	551,613	0	0		
	合計		721	551,613	551,613	0	0		

(6) 現金の取扱状況
該当なし

9 収入未済額調べ
該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ
該当なし

11 不納欠損額調べ
該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ
(1) 負担金
該当なし

(2) 補助金
該当なし

(3) 交付金
該当なし

(4) 委託料

(平成26年5月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単県 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付年月日) 契約形態	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約年月日	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
予定価格が20万 円未満のもの											479,850	
目計											479,850	
合計											479,850	

13 工事請負費調べ
該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産
該当なし

(2) 金券類の受払状況
ア 金券の受払状況

(平成26年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び郵便はがき	10,470	17,400	11,910	15,960	
収入印紙					
収入証紙					
タクシークーポン券					
鉄道バスプリペイドカード					
合 計	10,470	17,400	11,910	15,960	

イ タクシーチケットの受払状況
該当なし

(3) 債 権
該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ
該当なし

16 借受不動産明細調べ
該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ
該当なし

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ
該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ
該当なし

20 備品の処分状況調べ
該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
該当なし

2.2 小中学校等への支援の状況調べ

(平成26年3月31日現在)
(単位：回)

月別	保育所 幼稚園			小学校			中学校			特別支援 学校			高等学校			合計		
	相談	計画	訪問 要請	相談	計画	訪問 要請	相談	計画	訪問 要請	相談	計画	訪問 要請	相談	計画	訪問 要請	相談	計画	訪問 要請
4月	0	0	0	9	5	2	4	5	1	0	0	0	0	0	0	13	10	3
5月	0	4	1	6	40	18	2	20	3	0	0	0	0	0	8	65	22	
6月	0	4	5	0	71	32	0	30	2	0	0	0	0	0	0	105	39	
7月	0	6	7	3	24	30	0	15	6	0	0	1	0	0	3	45	44	
8月	0	1	6	3	5	11	0	6	1	0	0	0	0	0	3	12	18	
9月	0	0	3	1	18	22	0	14	1	0	0	0	0	1	33	26		
10月	0	8	6	5	30	35	0	22	4	0	0	0	0	5	60	45		
11月	0	4	6	4	39	32	0	32	10	0	0	0	0	4	75	48		
12月	0	1	2	0	29	19	0	29	12	0	0	0	0	0	59	33		
1月	0	2	3	0	8	17	0	7	7	0	0	0	0	0	18	27		
2月	0	0	12	0	6	7	0	7	5	0	0	0	0	0	13	24		
3月	0	0	4	0	2	1	0	1	2	0	0	0	0	0	3	7		
計	0	30	55	31	277	226	6	188	54	0	0	1	0	37	498	336		

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし